

Accuphase

CLEAN POWER SUPPLY

クリーン電源

PS-500V 取扱説明書



ご使用前に、この「取扱説明書」と別冊の「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになったあとは、お客様カードと引きかえにお届けする「品質保証書」と一緒に大切に保存してください。

このたびはアキュフェーズ製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

最高峰のオーディオ・コンポーネントを目指して完成されたアキュフェーズ製品は、個々のパーツの選択から製造工程、出荷にいたるまで数多くの厳しいチェックを受け、その過程および結果が一台ごとの製品の履歴書として明細に記録され、社内に保管されております。このように完全な品質管理体制の中から生まれた本機は、必ずやご満足いただけるものと思います。

未長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

3年間の品質保証と保証書

当社製品の品質保証は3年間です。付属のお客様カードに必要事項を記入の上、早くなるべく10日以内に返送ください。お客様カードと引きかえに「品質保証書」をお届けいたします。製品に関するお問い合わせや異常が認められるときは、当社品質保証部またはお求めの当社製品取扱店へ、直ちにご連絡ください。

尚、品質保証書につきましては日本国内のみ適用されます。

Accuphase warranty is valid only in Japan.

⚠ マークについて

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人身事故の発生する可能性や製品に重大な損害を生じる恐れがあることを示しています。お客様への危害や、機器の損害を防止するため、表示の意味をご理解いただき、本製品を安全に正しくご使用ください。

⚠ 警告： この表示を無視して、誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性があり、その危険を避けるための事項が示してあります。

⚠ 注意： この表示を無視して、誤った使い方をすると、人が軽度の傷害を負う可能性や製品に損害を生じる恐れがあり、その危険を避ける為の事項が示してあります。

目次

1. 各部の名前	
フロントパネル、リアパネル	1
2. 接続図	2
3. ⚠ 警告 安全上必ずお守りください/⚠ 注意	3
4. 各部の動作説明	4, 5
5. ご使用方法	
負荷機器の接続	6
プロテクション(安全保護)機能	6
当社製品の消費電力	7
6. 技術解説	
消費電力について	8
PS-500Vのメーター(電力計)と負荷について	8
電源波形のクリッピングの理由	9
7. 保証特性	10
8. 特性グラフ	10
9. ブロック・ダイアグラム	11
10. 故障かな?と思われるときは	12
11. アフターサービスについて	13

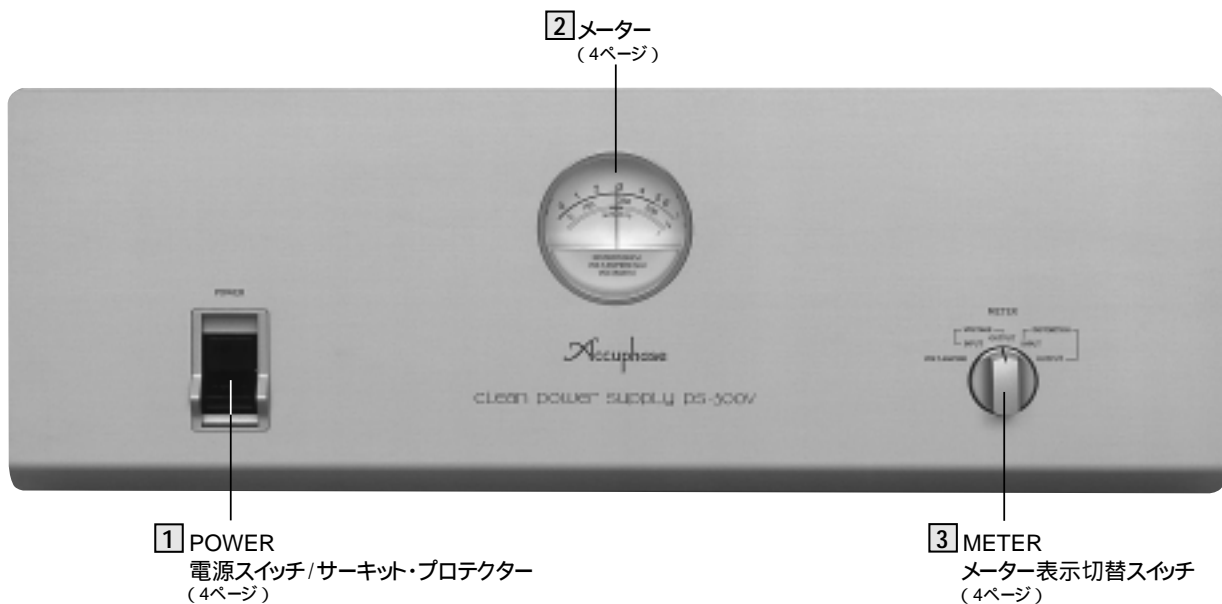
付属品を確認します

取扱説明書	1冊
安全上のご注意	1冊
3Pプラグ付 AC電源コード(2m)	1本
アース線付2P AC電源コード(2m)	1本
お客様カード	1枚

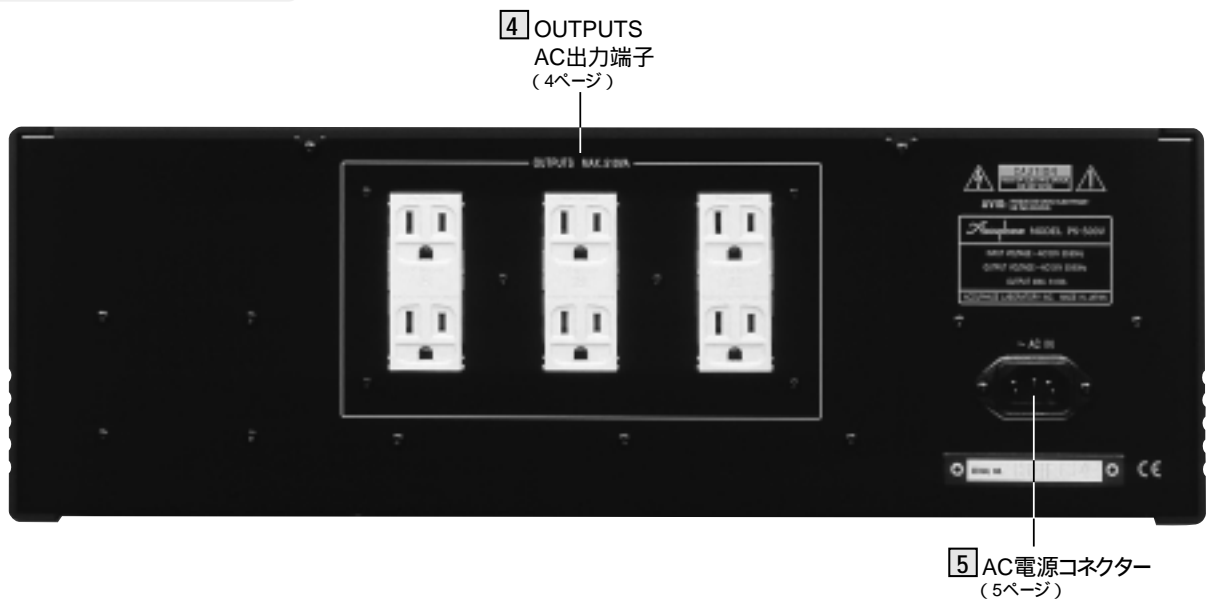
1. 各部の名前

詳しい説明は「各部の動作説明」(4, 5ページ)を参照してください。

フロントパネル(前面)



リアパネル(後面)



2. 接続図

⚠ 注意：接続するときは、必ず各機器の電源を切ってください。

接続する機器の合計消費電力が510VA以内になるように機器を選択してください。

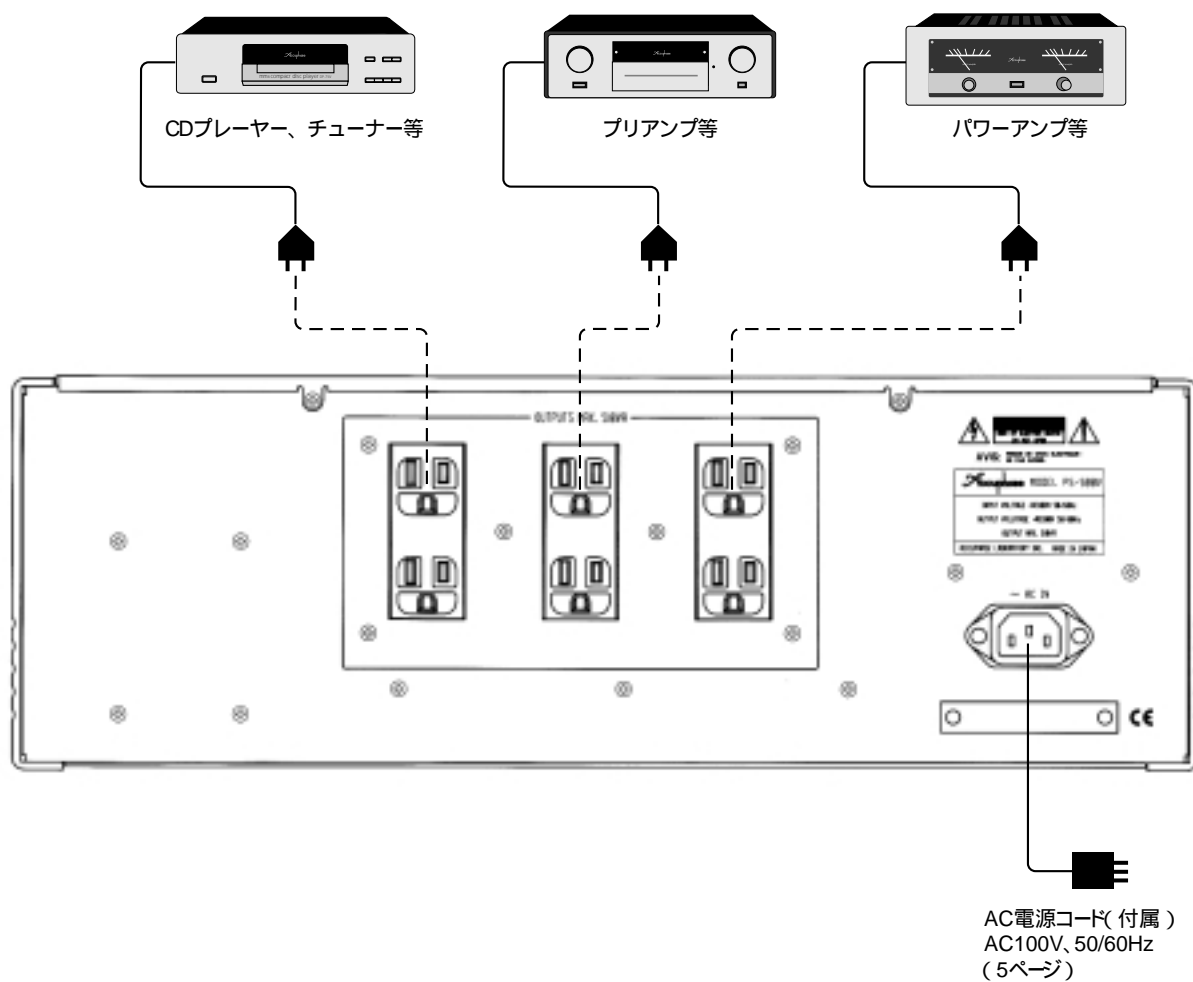
主な当社製品の電力値一覧表は、7ページを参照してください。

チューナー、CDプレーヤー、プリアンプなど小電力機種は、消費電力(VA値)を加算して機器を選択します。

プリメインアンプ、パワーアンプの消費電力は、スピーカーのインピーダンスと音声出力により変化しますので、実際に音を出しながらメーターでVA値を確認します。

過負荷の場合には、メーター照明ランプが点滅して警告します。ランプ点灯(510VA以下)まで負荷を下げて(機種を減らして)ください。

選択した機器を任意のACコンセントに接続してください。



3. 警告 安全上必ずお守りください

ご使用前にこの『取扱説明書』と別冊の『安全上のご注意』を良くお読みの上、製品を安全にお使いください。

電源は必ずAC(交流)100Vをご使用ください。

AC100V以外(海外)では使用できません。

電源周波数は50/60Hzいずれの地域でも使用できます。

電源コードは取り扱いを誤ると危険です。

付属の電源コード以外は絶対に使用しないでください。

火災や感電事故などの原因となります。

無理に曲げたり、引っ張ったり、重いものを載せない。

抜くときは、必ずプラグを持つ。

ぬれた手で電源プラグを絶対にさわらない。

トッププレートや底板は絶対にはずさないでください。内部に手などで触れますと感電事故や故障の原因となり、大変危険です。

本機はその故障や誤作動が直接人命を脅かしたり、人体に危害を及ぼす恐れのある装置(医療機器、航空宇宙機、交通機器、燃焼制御、各種安全装置など)に使用しないでください。

上記のような装置に使用したことにより発生した損害などについては補償できません。

次の場合には、電源コードをコンセントから抜き、当社品質保証部または当社製品取扱店にご連絡ください。

内部に水や薬品がかかった場合。

内部に異物(ヘアピン、釘、硬貨など)が入った場合。

故障や異常(発煙やにおいなど)と思われる場合。

注意

設置と使用上の注意

本機は、自然対流の空冷方式を採用していますので、ケース上面に触れると熱く感じます。性能や耐久性にはまったく支障ありませんが、次のような場所への設置はさけてください。

通風が悪く、湿気やほこりの多い場所

直射日光の当たるところ

暖房器具の近く

振動や傾斜のある不安定な場所

また、本機を2台重ねたり、他の機器と直接重ねての使用は絶対に避けてください。

接続する場合は、必ず各機器の電源を切ってから、確実に行ってください

AC電源コードの接続

本機は消費電力が大きいので、十分に余裕がある室内のコンセントから直接電源を取るようしてください。

AV機器以外は絶対に接続しないでください

本機は、オーディオや映像機器の音質・画質向上のため、電源の質を改善する装置です。これ以外の電動工具や一般家庭用電気製品などの電源として、本機を使用すると故障の原因になります。

商用電源以外には使用できません

本機の使用できる電源は、商用電源(AC100V 50/60Hz)だけです。これ以外の移動用や携帯用発電機、船舶などの電源は使用できません。

お手入れ

本体のお手入れは、柔らかい布を使用してください。固く絞った布で水拭きし、その後乾いた布で拭いてください。ベンジン、シンナー系の液体は、表面を傷めますので使わないでください。

出力端子などに接点保護剤などを絶対に使用しないでください。樹脂部が経年変化で破損して感電や故障の原因になります。

4. 各部の動作説明

1 POWER - 電源スイッチ/サーキット・プロテクター

スイッチの上側を押すと電源が入り、メーターランプが点灯します。
スイッチの下側を押すと電源が切れます。

電源を入れてから回路が安定するまで、約3秒間はミュージング回路が作動していますので出力はありません。

過負荷や出力ショート等による過大電流や本機内部の異常があった場合には、サーキット・プロテクターとして作動し、電源が切れます。

⚠ 注意

サーキット・プロテクターが作動した場合には、定格容量オーバー等原因が明確な場合には、過負荷機種を本機の接続からははずすなどの処置をして、再びスイッチを押すと電源が入ります。
本機内部の異常が考えられる場合には、接続機器をはずし、電源コードを抜いて、当社品質保証部または当社製品取扱店にご連絡ください。

2 メーター

METERスイッチ切り替えにより、次の5種類を表示します。

VOLT-AMPERE : 出力電力 (VA)

VOLTAGE : 入・出力電源電圧 (V)

(目盛の緑色部分は、AC100V ±5Vの範囲を指示)

DISTORTION : 入・出力波形ひずみ率 (%)

⚠ 注意

接続機器が過負荷状態になると、メーター照明ランプが点滅して警告します。点滅のまま使用を続けると、本機が故障する原因となります。510VA以下になってランプが点灯に変わるように、負荷を下げてください(接続機種を減らして)ください。

3 METER - メーター表示切替スイッチ

VOLT-AMPERE

出力に接続されている機器の合計消費電力(W)をVA値で表示します。(6,7ページ参照)

VA値は、機器やカタログに表示してある消費電力(W)より大きな値を指示します。

パワーアンプを接続している場合には、音量によって消費電力が大きく変化しますので、指針の振れも変化します。

VOLTAGE INPUT : 入力電源電圧 (V) を表示

VOLTAGE OUTPUT : 出力電源電圧 (V) を表示

DISTORTION INPUT : 入力電源電圧のひずみ率 (%) を表示

DISTORTION OUTPUT : 出力電源電圧のひずみ率 (%) を表示

4 OUTPUTS-AC出力端子

出力機器を接続する、ホスピタルグレードのACコンセントです。6個の出力端子に合計消費電力510VAまで接続することができます。

2Pプラグを差し込む場合、コンセントの向かって左側(穴が右に比べて大きい)がコールド側です。

⚠ 警告

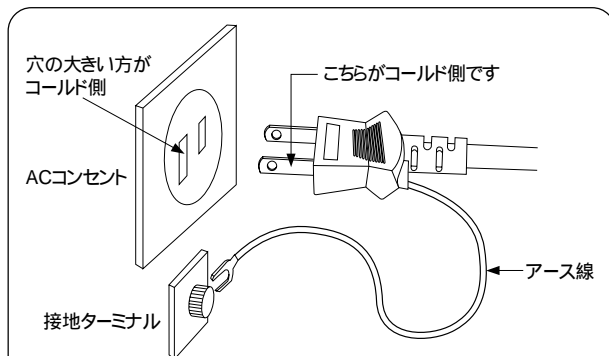
本機の出カコンセントに、3極プラグ付きの機器を接続するときには、『3P 2P用電源プラグ変換アダプター』を絶対に使用しないでください。機器が接地されなくなり、感電事故などの原因になります。

5 AC電源コネクター

付属の電源コードを接続します。本機は、2種類の電源コードを付属していますが、以下の説明をよくお読みの上、コンセントの形状に合わせてご使用ください。

『3Pプラグ付AC電源コード』について
安全上、接地極付きの3Pプラグを使用した電源コードを付属しています。3Pプラグを3種のコンセントに接続すると、本機はコンセントを通じて安全に接地され、感電事故を防ぐことができます。

『アース線付2P AC電源コード』について
通常の2Pプラグ用コンセントを使用する場合には、図のように接地ターミナルが必要です。電源コードに付いているアース線を接地ターミナルに接続してください。



⚠ 警告

安全のため、アース線は接地してください。
アース接続は、必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。
アース線を外す場合は、必ず電源プラグを切り離してからにしてください。

⚠ 警告

電源は必ずAC100V、50/60Hz家庭用コンセントをご使用ください。
本機に付属の電源コード以外は絶対に使用しないでください。火災、感電事故などの原因になります。
3Pプラグ付電源コードに、市販の『2P変換アダプター』を付けて使用しないでください。アースが接地されないため、火災、感電事故の原因となります。

⚠ 注意

3Pプラグをお使いになれないとき、また接地用ターミナルがコンセントのそばにないときは電気工事が必要です。コンセントの交換、接地ターミナルの増設などの工事には資格が必要ですので必ず電気工事店にご相談ください。

電源コードの極性について

室内のコンセントは大地に対して極性を持っています。3Pプラグの場合は差し込むと極性は決まりますが、『アース線付2P AC電源コード』を使用した場合、接続する機器の極性を合わせることで、音質的に良い結果が得られる場合があります。但し、この極性は合わせなくても実用上問題にはなりません。

本機は、トランスの巻き方向、部品の配線など極性を厳密に管理して、プラグのアース線が出ている方がコールド側になっています。機器の接続を統一したい場合は参考にしてください。

⚠ 注意

室内2Pコンセントの極性は、一般に向かって左側(穴が右に比べて大きい)がコールド側です。
大地に対する電位は屋内配線の状況によって変化します。このためチェッカーなどを使用して測定した場合、電位が逆表示することがあります。

⚠ 警告

内部をあけると危険です
電源が入らなくなった場合には、内部で異常が発生した可能性があります。電源コードを抜いて、必ず当社の品質保証部または当社製品取扱店へご連絡ください。

5. ご使用方法

⚠ 注意: POWER スイッチは、各機器が正しく接続されるまで入れないでください。

負荷機器の接続

接続する負荷機器のカタログや取扱説明書を参考に、負荷機器の消費電力を合計して510VAを超えないように機器を選択します。

⚠ 注意

オーディオ機器の消費電力は、一般的に法律で義務づけられたワット(W:有効電力)で表示されています。しかしPS-500Vのメーターは、電圧と実際に流れる電流の積、ボルト・アンペア(VA:皮相電力)で指示します。

従ってメーターは、機器類に表示されているワット値より大きな値を指示します。

PS-500Vの定格容量は510VAですから、カタログに表示されている消費電力を合計した電力より、余裕をもって機種を選択してください。

特に、パワーアンプはWとVAの差が大きいため注意が必要です。次ページの当社製品の電力値一覧を参照してください。

接続後は電源を入れ、METERスイッチをVOLT-AMPEREポジションにして、510VAを超えていないことを確認します。また、プリメインアンプやパワーアンプを接続した場合は、スピーカーから実際に音を出して最大音量でも、メーター指示値が510VAを超えないことが必要です。

⚠ 注意

プリメインアンプやパワーアンプの消費電力は、音声出力の大きさにより変化しますので、無信号時と電気用品取締法による表示電力を参考にします。

電気用品取締法による電力は、最も低い定格インピーダンスでの測定値ですから、かなり大きな値になります。しかし、インピーダンス8 程度のスピーカーで通常音量で聴かれる場合には、消費電力も小さくなり無信号時との間の値になります。このため実際に音を出して最大音量時で、メーター指示値が510VA以内であれば使用可能です。

(7ページの消費電力の表を参照)

定格容量を超え過負荷の場合、メーター照明ランプが点滅して警告します。これを無視してさらに大きな電力になると電源スイッチ兼用のサーキット・プロテクター等が、うなりや振動音を生じし電源を遮断します。このようなときは、接続機器を510VA以下に減らしてください。

A-50, A-50Vなど、MOS-FETを使用した大電力A級パワーアンプは、電源投入時のアイドル電流が大きいいため、PS-500Vとは接続できません。

A-20Vなど、比較的VAの小さなA級パワーなどアンプを複数台接続された場合、メーターは加算値より低く表示します。このような場合でも、表のVA値を加算した電力が優先します。

メーター指示値510VA以内であれば、接続機器の電源を入れた状態で、本機のパワースイッチをON/OFFすることができます。

プロテクション(安全保護)機能

入力電流オーバー

出力端子に接続される負荷機器の合計消費電力が510VA以上になり、定常入力電流が規定値を超えると、メーター照明ランプが点滅し警告します。さらに電力が大きくなると電源スイッチ兼用のサーキット・プロテクターが電源を遮断します。出力端子を誤ってショートした場合も同様です。

負荷電力を減らすなどの処置をして、再度電源を入れれば使用可能になります。

瞬時出力電流オーバー

電源ON時の突入電流や、パワーアンプの音声出力のピーク時など、瞬間的な電力オーバーに対しては、70Aで電流リミッターがかかり安全に使用できます。

瞬間的な電力オーバーでメーター照明ランプが点滅した場合、510VA以下に戻れば点灯に変わります。

直流電圧が出力された場合、または定格を超えた異常電圧が出力された場合
本機の異常により直流電圧が出力された場合や、過電圧が出力された場合は、出力をOFFにして接続機器を保護します。

機器の周辺の放熱が悪いときや、定格電力で非常に長い時間使用して内部のヒートシンクや電源トランスが110を超えた場合には、自動的に回路を遮断します。

⚠ 警告

内部をあけると危険です

本体内部の異常動作でサーキット・プロテクターが作動し電源が入らなくなった場合には、電源コードを抜いて、必ず当社の品質保証部または当社製品取扱店へご連絡ください。

当社製品の消費電力

全て1台の電力値(室温20)です。

消費電力は、通電時間によっても変化します。

複数台接続する場合は()内のVA値を加算して目安にしてください。

旧製品など詳しくは、当社品質保証部にお問い合わせください。

(1)プリメインアンプ、パワーアンプ

*実際に使用する場合の消費電力は、無信号時と電気用品取締法の間になります。

* 印はインピーダンス8 程度のスピーカーで、通常音量で使用の場合には接続可能です。

機種名	無信号時	電気用品取締法	接続(可、×不可)	
パワーアンプ	M-2000	180W (222VA)	950W (1,300VA)	
	P-1000	148W (215VA)	1,070W (1,480VA)	
	P-800	220W (260VA)	1,100W (1,480VA)	×
	P-700	210W (330VA)	1,200W (1,530VA)	
	P-550	200W (290VA)	980W (1,280VA)	
	P-450	125W (164VA)	450W (660VA)	
	A-50V	330W (440VA)	550W (800VA)	×
	A-50	310W (365VA)	550W (615VA)	×
	A-20V	160W (210VA)	250W (315VA)	
	A-20	160W (210VA)	250W (315VA)	
プリメインアンプ	E-407	45W (58VA)	410W (560VA)	
	E-406V	55W (69VA)	350W (463VA)	
	E-306V	50W (70VA)	240W (330VA)	
	E-211	30W (51VA)	220W (262VA)	

(2)プリアンプ、CDプレーヤー、チューナーなど

機種名	消費電力	接続	
プリアンプ	DC-330	20W (33VA)	VA値を加算して機種を選択します。
	DC-300	25W (31VA)	
	C-290V	34W (44VA)	
	C-290	30W (38VA)	
	C-275/C-275V	20W (30VA)	
	C-265	17W (23VA)	
CDプレーヤー	DP-75V	26W (35VA)	
	DP-75	27W (32VA)	
	DP-65V	20W (25VA)	
	DP-55	15W (16VA)	
	DP-90/DC-91	12W/42W (18/45VA)	
	DC-61	14W (15VA)	
FMチューナー	T-109/T-109V	15W (16VA)	
CS-PCMチューナー	T-110CS	29W (33VA)	
チャンネルディバイダー	DF-35	21W (25VA)	
	F-25	19W (22VA)	
	F-20	20W (20VA)	

印は、オプション増設時の電力値を示す

6. 技術解説

消費電力について

電力の単位はワット(Watt、単にWと略す場合が多い)で表わします。これは、その電気機器に供給される電圧Vと電流Aの積で表されることをご存じのとおりです。

$$W=V \times A$$

電圧が直流の場合はこれで話は終わりになりますが、時々刻々変化する交流では、接続される機器の内容によって表示方法が異なります。それは電気機器の内部が単に純粋な抵抗分のみでなく、コンデンサーの成分やコイルの成分(これらをリアクタンス成分という)を含んでいるからに他なりません。この場合「電力」の表示は3種類に分類され、それぞれが独自の意味を持ちます。その3種類とは次の通りです。

有効電力 = Active Power: 実際に仕事エネルギーになる電力

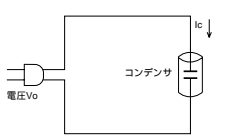
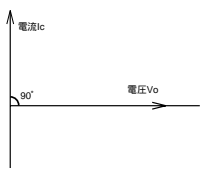
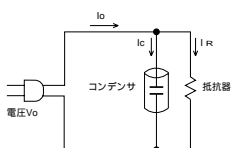
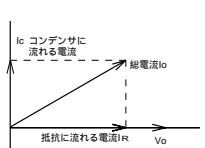
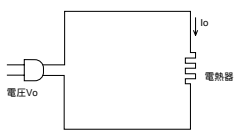
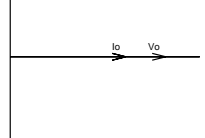
無効電力 = Reactive Power: 電流は流れるが、仕事をしない電力

皮相電力 = Apparent Power: 加えた電圧と流れる電流を単に掛けた電力

我々の家庭で、積算電力計に現れて料金になる電力は、の有効電力のことで とは無関係です。電気機器やカタログ類に表示されている消費電力は、この有効電力が使用され、ワット(W)で表示されています。

ところが実際に電気機器を接続したときの電力は、有効電力より大きな値になります。この電力値は の皮相電力と呼ばれ、単位はボルト・アンペア(VA)で表示します。

これらの電力の関係について次の図で説明しましょう。

条件	回路	電圧と電流の関係	各電力の値
(a) コンデンサーに交流電圧を加える			有効電力 = ゼロ 無効電力 = $V_0 \times I_c$ 皮相電力 = $V_0 \times I_c$ (= 無効電力)
(b) 通常のアンプ等では			有効電力 = $V_0 \times I_r$ 無効電力 = $V_0 \times I_c$ 皮相電力 = $V_0 \times I_o$
(c) 電熱器や電球等の場合			有効電力 = $V_0 \times I_o$ 無効電力 = ゼロ 皮相電力 = $V_0 \times I_o$ (= 有効電力)

(a) コンデンサーに電圧を加えた場合、電流 I_c が流れます。しかし電圧と90°の位相差があるため、仕事をする有効電力はゼロで積算電力計は動きません。

(b) はアンプやテレビ、家電製品などもっとも多い例です。この場合、電圧と総電流 I_o の角度は90°よりも小さくなり、電圧と同じ方向の成分 I_r が仕事をする有効電力となります。そして3種類とも値が異なるものになります。

(c) は純抵抗分の多い電熱器や電球の場合で、電流と電圧のベクトル方向が一致して、「有効電力」のみになります。

PS-500Vのメーター(電力計)と負荷について

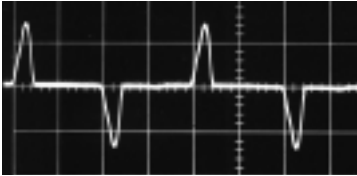
電力には3種類の表わし方がありますが、電気機器には、電気用品取締法により何らかの条件下で消費電力を表示しなければなりません。オーディオ機器の場合は、実際にエネルギーになる有効電力で表示することになっています。当社のアンプ類のリアパネルにも法律で義務づけられた有効電力で表示しています。

しかしPS-500VのメーターのWATTAGE表示は、加えた電圧(100V)と流れた電流との積、つまり皮相電力(VA値)で指示します。有効電力表示をしていない理由は、本機に接続される機器によっては、有効電力と皮相電力が大きく食い違い、2者の電力の差が大きい(ということ)実効電力が同じでも大電流が流れて内部のトランスが過負荷になる場合がありこれを防止するためです。従って負荷機器を接続する場合には、アンプに表示されている電気用品取締法の電力は一応参考にして機器を選択したあと、実際に音を出してメーターの指示が、最大音量時でも510VA以内になるように注意が必要になります。

電源波形のクリッピングの理由

私たちが実際使用している電源電圧は、多くの場合変形して大きなひずみを発生しています。その波形を写真に示しましたが、写真 b はひずみ率が3%位の波形で先端がつぶれています。これに対して、写真 c は理想的な波形でひずみ率がおよそ0.2%位、きれいなサイン波になっています。

写真 a 電源の電流波形

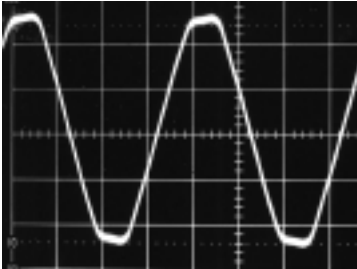


なぜこのように先端がつぶれるのでしょうか。その理由は、負荷として接続されるリアクタンス成分の中でもコンデンサーの成分が重要な意味をもちます。

たとえばアンプの場合、整流器で脈流を作りそれを電源のコンデンサーで蓄えます。この場合、アンプに流れる交流信号は写真 a のパルス状の波形で、この波形からも分るとおり電流は交流波形の最大値付近でしか流れません。

波形の立ち上がり、立ち下がり部分では電流がほとんど流れませんから、配線経路に抵抗分があると（現実には必ず存在します）電流の多いところで電圧降下を起こし、アンプに供給される交流電圧は写真 b のように先端がつぶれた波形になってしまいます。従って被害者であるアンプ自身も、実は加害者であるといえましょう。

写真 b 電源ラインの電圧波形(ひずみ率:約3%)



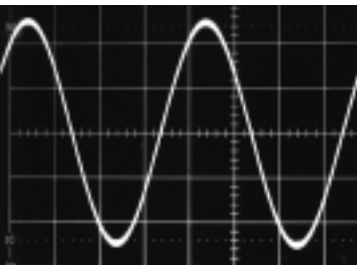
このように先端がカットされた電源ではなぜ音質が悪くなるのでしょうか。

第1図は、写真 b の先端がつぶれた波形に、どのような成分が含まれているのかを分析したスペクトラムです。

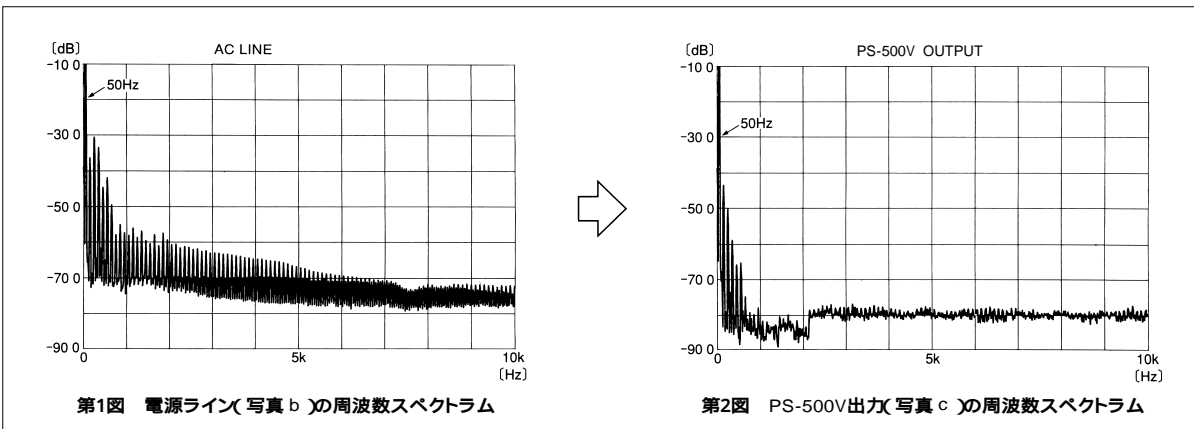
この図面が示すとおり先端がつぶれ、ひずみが多い波形は、不要周波数成分を多く含んでいることが分ります。図では10kHzまでしか測定していませんが、もっと高い周波数の不純物も含んでいることはいうまでもありません。

これらを「高調波成分」といいますが、この成分は電源を通過してアンプの増幅回路に侵入し、信号と干渉しあって「混変調ひずみ」を発生し、音質を阻害するものと推定されます。

写真 c PS-500Vの出力波形(ひずみ率:約0.2%)



第2図はほとんどひずみがない(PS-500Vの出力波形)写真 c の分析結果です。PS-500Vを通すことにより、可聴帯域内の不要周波数成分は、ほとんど排除されているのが確認できます。



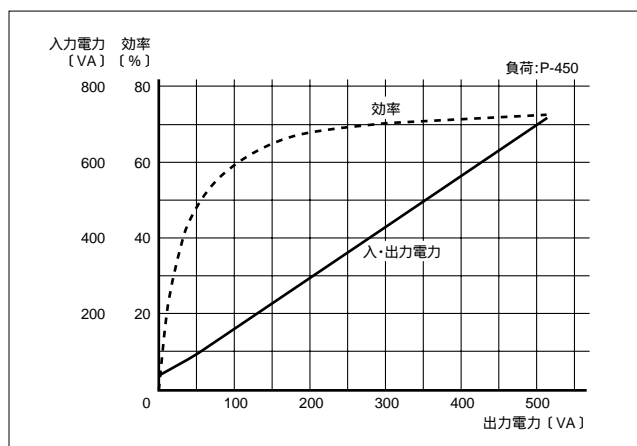
電源の周波数スペクトラム

7. 保証特性

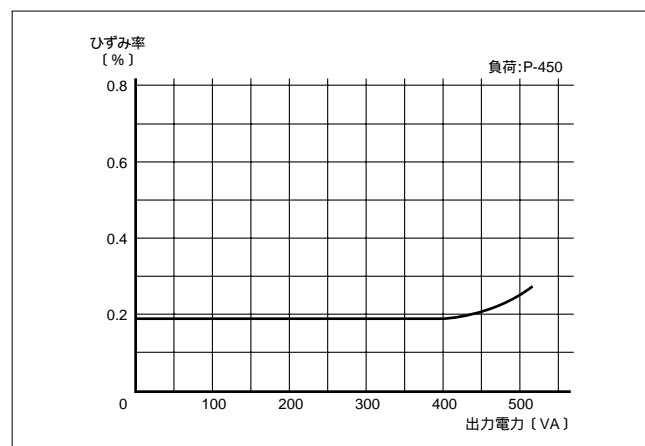
定格出力容量	510VA(連続出力)
定格出力電圧	AC100V \pm 2V
定格出力電流	5.1A
出力周波数	50/60Hz(入力周波数に同期)
瞬時電流供給能力	70A
出力波形全高調波ひずみ率	0.3%以下
定格入力電圧	AC100V (入力電圧範囲 AC90V \sim 110V)
入力周波数	50/60Hz
無負荷時消費電力	55W
冷却方式	自然空冷
メーター	VOLT-AMPERE : 0 \sim 510VA VOLTAGE INPUT/OUTPUT : AC90V \sim 110V 目盛の緑色範囲 : AC100V \pm 5V DISTORTION INPUT/OUTPUT : 0 \sim 6%
	*過負荷の場合にはメーター照明ランプが点滅
最大外形寸法	幅475mm \times 高さ180mm \times 奥行394mm
質量	23.8kg

本機の特長および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

8. 特性グラフ

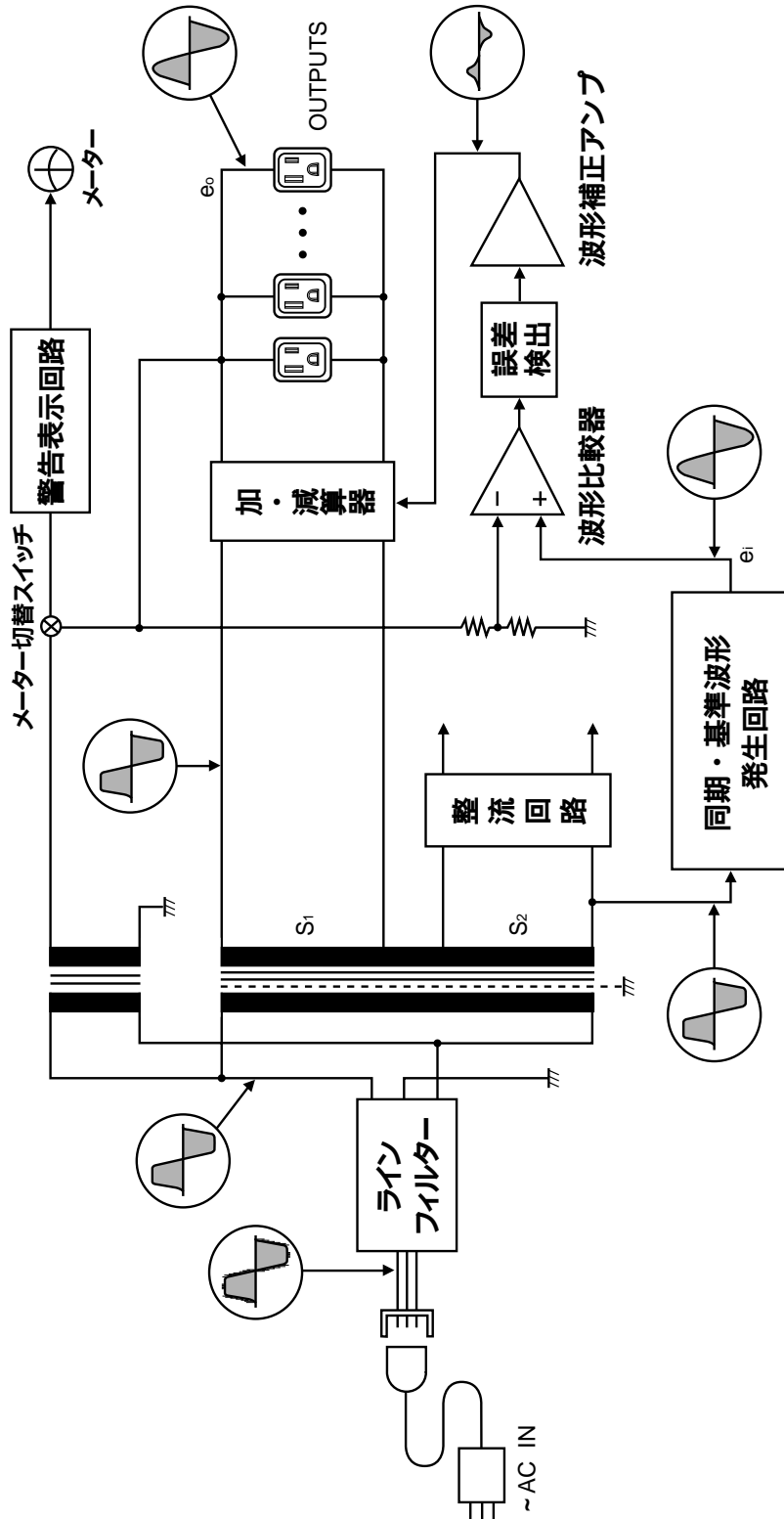


出力電力 / 入力電力・効率特性




出力電力 / 全高調波ひずみ率特性

9. ブロック・ダイアグラム



10. 故障かな?と思われるときは

故障かな?と思われるときは、修理を依頼される前に、下記の項目をチェックしてください。これらの処置をしても直らない場合には、当社品質保証部または当社製品取扱店にご連絡ください。

 注意：接続を変える場合には、必ず各機器の電源を切ってください。

本機の電源が入らない

電源コードが抜けていませんか? …… 本体側、コンセント側確認
電源スイッチを押しても、ONできない。…… サークット・プロテクターが作動している。
(4,6ページ参照)

接続機器の電源が入らない

本機の電源は入っていますか?
本機と機器の電源コードの接続を確認します。
本機以外の電源で確認します。
入る …… 本機に原因が考えられます。
入らない …… 接続機器側に原因が考えられます。

メーター照明ランプが点滅する

定格容量を超え過負荷の場合、メーターの照明ランプが点滅し容量オーバーの警告をします。……メーターの電力値が「510VA」を超えないように、接続機器を制限します。

本機内部から異常音(振動音)がする

定格容量「510VA」付近になると、サーキット・プロテクターが振動音を発生する構造になっています。……メーターの電力値が「510VA」より余裕をもつように、接続機器を制限します。

サーキット・プロテクターが作動して電源が切れる

接続機器をすべて外す。
電源が入らない …… 本機に異常が考えられます。
電源が入る …… 接続機器を一台ずつ接続し、メーターの電力値が「510VA」を超えないようにします。
(プリメインアンプ、パワーアンプは、実際に音を出しながら確認します。)

11. アフターサービスについて

保証書

保証書は本体付属の「お客様カード」の登録でお送りいたします。

保証書の記載内容により、保証期間はご購入日から3年間です。

保証書がない場合には、保証内修理をお断りする場合があります。よくお読みのうえ、大切に保存してください。

保証期間が過ぎてしまったら

修理によって性能を維持できる場合には、ご希望により有料で修理いたします。

補修部品の保有期間は通産省指導により製造終了後最低8年間となっています。

使用期間が相当経過している場合には、当社品質保証部にお問い合わせください。

その他

改造されたものは修理ができない場合があります。

本機の故障に起因する付随的損害(営利的使用に関する諸費用、使用により得られる利益の損失等)については補償できません。

AC100V以外(海外)では使用できません。

保証は日本国内のみ適用されます。

Accuphase warranty is valid only in Japan.

お問い合わせは

ご質問、ご相談は当社品質保証部または当社製品取扱店にお問い合わせください。

アキュフェーズ株式会社 品質保証部
〒225-8508 横浜市青葉区新石川2-14-10
TEL 045(901)2771(代表)
FAX 045(901)8995

修理依頼の場合には

“故障かな?と思われるときは”をご確認後、直らない場合には、電源プラグをコンセントから抜き、修理を依頼してください。

次の内容をお知らせください。(保証書参照)

モデル名、シリアル番号	ご住所、氏名、電話番号
ご購入日、ご購入店	故障状況:できるだけ詳しく

梱包材は、輸送時に必要となりますので、保管しておいてください。

Notes:

A series of horizontal dashed lines for taking notes.



ACCUPHASE LABORATORY INC.

アキュフェーズ株式会社

横浜市青葉区新石川2 - 14 - 10

〒225-8508 TEL(045)901-2771(代)